

## 3月21日は国連が制定した「世界ダウン症の日」 3月はJDSが定めた「ダウン症啓発月間」

### 公益財団法人 日本ダウン症協会の活動のご紹介

私たちは、ダウン症のある人たちとその家族の  
生活の質と福祉の向上を目指して活動しています。

#### 相談活動

親として豊富な経験をもつ先輩たちが、電話(月～金 10:00～15:00)、FAXやメールでさまざま相談に応じています。全国各地では、現地の事情に明るい相談員が相談をお受けしています。乳幼児の発達相談も実施中(月1回・個別相談・この相談のみ有料)。

#### 会報発行ほか広報出版活動

乳幼児から成人までダウン症に関する充実した内容の会報「JDSニュース」を毎月発行。長い間蓄積してきた知識・情報を独自の視点でまとめた冊子、ダウン症miniブックもシリーズで発行。関連書籍でも、執筆や編集、翻訳に協力しています。また、マスコミやHP、フェイスブック等を通じてダウン症に関する情報を発信しています。



#### 全国巡回セミナー、成人期対応セミナーの開催

平成13年度から「のびやかな心と暮らし」と題したセミナーを全国各地で開催。乳幼児期、学齢期をたどりながら、成人期においてもいきと充実した人生を送る方法を探っています。平成18年度からは、専門家を対象に成人期の問題に的を絞ったセミナーも開催中。

#### その他

会員相互の親睦を図るためのブロック大会等の開催/3月の「ダウン症啓発月間」をはじめとしたダウン症を正しく理解してもらうための啓発活動/支部・準支部や地域の親の会等の設立支援/ダウン症に関する諸問題について国や行政、関連機関への働きかけ/海外の組織との交流や情報収集/世界ダウン症会議やアジア太平洋ダウン症連合の会議への協力・参加/3月21日「世界ダウン症の日」を記念した関連事業の実施、各地の関連行事への後援・支援など

#### 3月21日「世界ダウン症の日」記念事業



H27.3. 日韓合同演奏(東京・亀有)



H25.3. ファッションショー(東京・池袋)

#### 短期事業 「芸術創作活動」(平成12～17年度)



H15.8. すみだリバーサイドホール ギャラリーでの「DOWN TO ART ダウン症のアーティスト展」

#### ダウン症miniブックのご案内

改訂版『この子とともに強く明るく  
—ダウン症があるお子さんをもたれたご両親のために—』



『ダウン症の理解と小児期の健康管理』



『ゆっくり育つ子どもたち  
—乳幼児の発達相談—』



『はじめまして どうぞよろしく！  
—はじめて集団に入る子どもたちのために—』



『成人期の健康管理』

『先生だいすき！友だちだいすき！  
—学齢期の子どもと関わる方々のために—』



ご注文・お問い合わせは下記まで

## JDS 公益財団法人 日本ダウン症協会

会員募集中  
年会費

- 入会金/1,000円(特別会員を除く)
- 正会員/支部会員:4,000円 準支部会員:5,000円
- 賛助会員(旧個人会員)/5,000円
- 特別会員(旧賛助会員)/3,000円

皆様からのご寄付をよろしくお願いいたします。  
いただいた寄付金は、所得控除の対象となります。

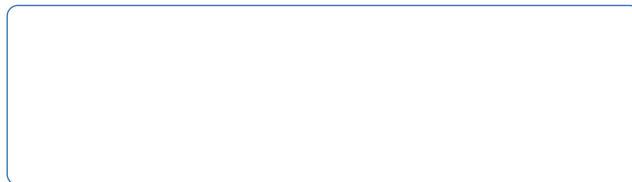
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階  
TEL 03-6907-1824 FAX 03-6907-1825  
URL <http://www.jdss.or.jp> E-mail [info@jdss.or.jp](mailto:info@jdss.or.jp)



#### 【交通のご案内】

- ◆JR山手線  
…大塚駅下車 徒歩3分
- ◆東京メトロ丸ノ内線  
…新大塚駅下車 徒歩6分
- ◆都電荒川線  
…大塚駅前下車 徒歩3分

■お近くには下記の支部または準支部、親の会があります。



もっともっと知ってほしい！  
ダウン症のある  
人たちのことを



ダウン症のある人たちとその家族、支援者でつくる会員組織

JDS 公益財団法人  
日本ダウン症協会  
Japan Down Syndrome Society

日本ダウン症協会(JDS)は国際ダウン症連合(DSI)の正規会員です

# ダウン症とは

正式名は「ダウン症候群」(最初にダウン症を指摘した英・ダウン博士の名前より命名)で、どの国にも約1,000人に1人の割合で生まれます。遺伝ではなく染色体の突然変異によって起こる場合がほとんどで、通常、21番目の染色体が1本多くて3本になっています。

ダウン症の特性として、筋肉の緊張度が低く、多くの場合、知的な発達に遅れがみられます。発達の道筋は通常の場合とほぼ同じですが、全体的にゆっくり発達します。

心疾患などを伴うことも多いのですが、医療や療育、教育が進み、最近ではほとんどの人が、一般社会の中で普通に学校生活や社会生活を送っています。

ひとりで悩まないで

## Q&A

**Q** どんなふうに育つのですか？

**A** ゆっくりかもしれませんが、一步一步確実に成長していきます。早い時期からの働きかけが大切なので、ほほえみかけ、話しかけ、たくさん遊んであげてください。

**Q** 学校はどうなりますか？

**A** 地域の小中学校へ通うか(通常学級か特別支援学級に在籍)、個々の状況に応じて特別支援学校を選びます。高校は、特別支援学校が大半ですが、通信制や定時制等へ進む人もいます。

**Q** 友達をつくることはできますか？

**A** もちろん! 明るくてやさしいのがダウン症のある人たちの自慢です。人なつこい性格で、学校でも職場でも、たいていの場合、うまく溶け込むことができます。

**Q** 仕事はどうしていますか？

**A** 施設や作業所での軽作業のほか、飲食店や小売業など、福祉就労または一般就労の様々な分野で、大半の人が働いています。趣味を生かして画家や演奏家などを目指す人もいます。



パン屋さんで袋詰めや販売を担当。レジ打ちも手慣れたもの



小学校入学の日、交流学級の机に初めて座ってピース!



子どもパン教室で作ったクリスマスツリーが上手にできました

たまにはケンカもするけど、とっても仲良しの1歳違いの姉妹です



本場高知の「よさこい祭り」に張り切って参加

大好きなパパのところまで歩いていけるようになりました



「ぼく、犬のステラのことが、だーい好きなんだよ!!」



社会体験学習で行ったショッピングセンターで、洋服を合わせてみて

赤ちゃんのときからずっと一緒に大親友の二人

## ご家族へ

ダウン症から派生する病気のあるお子さんが多いので、まずは体に気を付けてあげてください。愛情をもって、あせらずに成長を見守って! かけがえのない存在になることでしょう。



## お医者様、看護師・助産師の皆様へ

医療面のケアだけでなく、不安な気持ちを抱えるご両親をトータルで支えてあげてください。ダウン症に関する各種情報の提供もぜひともお願いします! <医療従事者向けの冊子『大切な命を産み 育むために』を無料配布中>



## 支援して下さる皆様へ

できない事がたくさんあるかもしれませんが、思うように動かない時もあります。できることを褒め、必要な場合に援助の手を差し伸べていただければ、限らない可能性を秘めた人々たちです。

